

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年9月28日
【四半期会計期間】	第50期第2四半期（自平成30年5月21日 至平成30年8月20日）
【会社名】	アーランドサカモト株式会社
【英訳名】	ARCLAND SAKAMOTO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長（COO） 坂本 雅俊
【本店の所在の場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256（33）6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志田 光明
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256（33）6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 志田 光明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第2四半期 連結累計期間	第50期 第2四半期 連結累計期間	第49期
会計期間	自平成29年 2月21日 至平成29年 8月20日	自平成30年 2月21日 至平成30年 8月20日	自平成29年 2月21日 至平成30年 2月20日
売上高 (百万円)	53,688	55,448	105,232
経常利益 (百万円)	5,551	5,841	10,037
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	3,120	3,348	5,408
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,046	3,453	6,569
純資産額 (百万円)	71,678	77,321	74,590
総資産額 (百万円)	88,722	94,563	90,843
1株当たり四半期(当期)純利 益金額 (円)	76.93	82.57	133.36
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	72.8	73.3	73.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	5,756	6,110	9,549
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	664	1,633	774
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (百万円)	2,943	906	3,991
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (百万円)	13,468	18,344	14,777

回次	第49期 第2四半期 連結会計期間	第50期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成29年 5月21日 至平成29年 8月20日	自平成30年 5月21日 至平成30年 8月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	39.12	40.52

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成30年2月21日から平成30年8月20日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調にあるものの、依然として個人消費は力強さを欠き、地政学的リスクが懸念されるなど、先行き不透明な環境が続いております。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は554億48百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は54億35百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益は58億41百万円（前年同期比5.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については、33億48百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <小売事業>

ホームセンター部門の売上高は325億91百万円（前年同期比0.1%減）となりました。前年5月のニコペット与野店及び11月の住デポ厚木店のオープンが寄与した一方で、既存店は春先の天候に恵まれた4月及び猛暑が続いた7・8月は好調に推移したものの、5・6月の客数減少の影響により、売上高が前年同期比0.8%減となりました。

その他小売部門の売上高は7月にオープンしたムサシ食品館新潟西店が寄与したものの、アークオアシスにおいて前年5月に堺鉄砲町店が閉店したこと及び前年3月に大麻店のオープンセールがあったことにより、30億47百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

その結果、小売事業の売上高は356億38百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は販管費の抑制により24億6百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

#### <卸売事業>

卸売事業の売上高は39億44百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は減収により4億19百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

#### <外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」（国内・海外）のFC含む店舗数が純増9店舗の416店舗、「からやま」・「からあげ縁」も純増13店舗の72店舗となるなど、積極的な事業展開により、売上高は144億69百万円（前年同期比16.2%増）、営業利益は19億83百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業の売上高は13億95百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は6億13百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

#### (2)財政状態に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して37億20百万円増加し、945億63百万円となりました。これは主に現金及び預金が35億67百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比較して9億89百万円増加し、172億42百万円となりました。これは主に買掛金が5億84百万円、未払法人税等が3億41百万円及びその他流動負債が3億73百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金2億50百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比較して27億30百万円増加し、773億21百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が27億40百万円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して35億67百万円増加し、183億44百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、61億10百万円(前年同期は57億56百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益58億65百万円、減価償却費11億29百万円、法人税等の支払額15億88百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、16億33百万円(前年同期は6億64百万円の獲得)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出11億54百万円、投資有価証券の取得による支出3億90百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、9億6百万円(前年同期は29億43百万円の使用)となりました。これは主に配当金の支払額6億8百万円、長期借入金の返済による支出2億50百万円によるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成30年8月20日)	提出日現在発行数(株) (平成30年9月28日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	41,381,686	41,381,686	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	41,381,686	41,381,686	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成30年5月21日～ 平成30年8月20日	-	41,381,686	-	6,462	-	6,601

## (6)【大株主の状況】

平成30年8月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
有限会社武蔵	新潟県三条市塚野目2丁目13番30号	3,863	9.33
アーケランドサカモト取引先持株会	新潟県三条市上須頃445番地 アーケランドサカモト(株)内	2,051	4.95
坂本 勝司	新潟県三条市	1,607	3.88
坂本 洋司	新潟県三条市	1,442	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	1,419	3.42
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,349	3.25
坂本 晴彦	新潟県三条市	1,233	2.98
アーケランドサカモト従業員持株会	新潟県三条市上須頃445番地 アーケランドサカモト(株)内	1,140	2.75
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	938	2.26
GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エ ヌ・エイ東京支店)	BANKPLASSEN 2, 0107 OSLO 1 OSLO 0107 NO (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	891	2.15
計	-	15,937	38.51

(注) 上記信託銀行の所有株式数は信託業務に係る株式であります。

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成30年8月20日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 823,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 40,550,400	405,504	-
単元未満株式	普通株式 7,386	-	-
発行済株式総数	41,381,686	-	-
総株主の議決権	-	405,504	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1,200株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数12個が含まれております。

## 【自己株式等】

平成30年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
アークランド サカモト(株)	新潟県三条市 上須頃445番地	823,900	-	823,900	1.99
計	-	823,900	-	823,900	1.99

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成30年5月21日から平成30年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成30年2月21日から平成30年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PWCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,777	18,344
受取手形及び売掛金	3,748	3,818
商品及び製品	12,081	12,257
その他	1,727	2,002
貸倒引当金	8	7
流動資産合計	32,326	36,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,281	29,002
土地	11,173	11,238
その他(純額)	952	986
有形固定資産合計	41,407	41,227
無形固定資産		
のれん	358	307
その他	1,890	1,874
無形固定資産合計	2,248	2,182
投資その他の資産		
投資有価証券	9,969	9,758
敷金及び保証金	4,447	4,504
その他	451	482
貸倒引当金	6	6
投資その他の資産合計	14,860	14,739
固定資産合計	58,517	58,148
資産合計	90,843	94,563
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,765	5,350
1年内返済予定の長期借入金	500	250
未払法人税等	1,774	2,115
賞与引当金	226	324
その他	3,390	3,763
流動負債合計	10,657	11,805
固定負債		
長期預り保証金	3,335	3,373
退職給付に係る負債	260	260
役員退職慰労引当金	180	180
資産除去債務	1,542	1,571
その他	277	50
固定負債合計	5,595	5,437
負債合計	16,252	17,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	52,718	55,458
自己株式	641	641
株主資本合計	65,143	67,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,945	1,455
為替換算調整勘定	0	12
その他の包括利益累計額合計	1,946	1,442
非支配株主持分	7,500	7,994
純資産合計	74,590	77,321
負債純資産合計	90,843	94,563

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月21日 至平成30年8月20日)
売上高	53,688	55,448
売上原価	33,704	34,453
売上総利益	19,983	20,995
販売費及び一般管理費	14,776	15,559
営業利益	5,207	5,435
営業外収益		
受取利息	17	4
受取配当金	4	59
仕入割引	157	158
持分法による投資利益	63	81
その他	116	113
営業外収益合計	360	418
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	8	5
その他	5	6
営業外費用合計	15	12
経常利益	5,551	5,841
特別利益		
固定資産売却益	3	-
受取和解金	13	-
テナント退店収入	-	27
店舗譲渡益	-	34
その他	6	9
特別利益合計	22	71
特別損失		
固定資産除却損	21	23
店舗閉鎖損失	18	1
解体撤去費用	19	17
その他	18	4
特別損失合計	78	46
税金等調整前四半期純利益	5,496	5,865
法人税、住民税及び事業税	1,810	1,978
法人税等調整額	11	79
法人税等合計	1,799	1,899
四半期純利益	3,697	3,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	576	617
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,120	3,348

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月21日 至平成30年8月20日)
四半期純利益	3,697	3,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	650	489
為替換算調整勘定	3	16
持分法適用会社に対する持分相当額	3	6
その他の包括利益合計	650	512
四半期包括利益	3,046	3,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,469	2,845
非支配株主に係る四半期包括利益	577	608

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月21日 至平成30年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,496	5,865
減価償却費	1,165	1,129
のれん償却額	34	50
受取利息及び受取配当金	22	64
支払利息	1	0
売上債権の増減額(は増加)	250	71
たな卸資産の増減額(は増加)	343	175
仕入債務の増減額(は減少)	1,350	585
その他	252	316
小計	7,179	7,638
利息及び配当金の受取額	19	61
利息の支払額	1	0
和解金の受取額	15	-
法人税等の支払額	1,455	1,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,756	6,110
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	910	1,154
無形固定資産の取得による支出	16	11
敷金及び保証金の差入による支出	170	200
敷金及び保証金の回収による収入	168	140
投資有価証券の取得による支出	35	390
有価証券の売却による収入	1,010	-
有価証券の償還による収入	592	-
その他	26	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	664	1,633
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,000	-
長期借入金の返済による支出	250	250
配当金の支払額	506	608
非支配株主への配当金の支払額	89	114
その他	96	65
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,943	906
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	3,475	3,567
現金及び現金同等物の期首残高	9,993	14,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,468	18,344

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月21日 至平成30年8月20日)
給与・賞与・雑給	5,606百万円	5,953百万円
賞与引当金繰入額	315	320
退職給付費用	10	10

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

前第2四半期連結累計期間(自平成29年2月21日 至 平成29年8月20日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年2月21日 至 平成30年8月20日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている「現金及び預金」の金額は一致しております。

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年2月21日 至 平成29年8月20日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月11日 定時株主総会	普通株式	506	12.50	平成29年2月20日	平成29年5月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年9月19日 取締役会	普通株式	506	12.50	平成29年8月20日	平成29年10月16日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成30年2月21日 至 平成30年8月20日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年5月10日 定時株主総会	普通株式	608	15.00	平成30年2月20日	平成30年5月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年9月18日 取締役会	普通株式	608	15.00	平成30年8月20日	平成30年10月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年2月21日 至平成29年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	35,733	4,093	12,457	1,403	53,688	-	53,688
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	5,652	-	573	6,225	6,225	-
計	35,733	9,745	12,457	1,977	59,913	6,225	53,688
セグメント利益	2,280	425	1,863	626	5,195	11	5,207

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年2月21日 至平成30年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	35,638	3,944	14,469	1,395	55,448	-	55,448
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	5,759	-	559	6,318	6,318	-
計	35,638	9,703	14,469	1,955	61,767	6,318	55,448
セグメント利益	2,406	419	1,983	613	5,423	12	5,435

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成29年 2 月21日 至 平成29年 8 月20日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成30年 2 月21日 至 平成30年 8 月20日 )
1 株当たり四半期純利益金額	76円93銭	82円57銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 ( 百万円 )	3,120	3,348
普通株主に帰属しない金額 ( 百万円 )	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額 ( 百万円 )	3,120	3,348
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	40,557	40,557

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

平成30年 9 月18日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

( イ ) 中間配当による配当金の総額 608百万円

( ロ ) 1 株当たりの金額 15円00銭

( ハ ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成30年10月15日

( 注 ) 平成30年 8 月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、支払を行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年9月28日

アーランドサカモト株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 萩森 正彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 飯室 進康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の平成30年2月21日から平成31年2月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成30年5月21日から平成30年8月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成30年2月21日から平成30年8月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の平成30年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。